

事業仕分けを終えての課題等

1. 総括

傍聴者アンケート等で指摘のように、各事業の内容把握に時間をとられて踏込み不足の感は否めない。また、「委員の発言が市民を代表したものであったか」との意見もあった。

さらに、市民の関心が低かった点も課題となる。(周囲の人に聞いても、仕分けの実施を知っていれば良い方)

以上をふまえ、以下の提案を行う。

「市民レビュー」の提案

- 1) 対象事業を選定し、年度初めに事業シートを公表する。
- 2) 事業仕分けまでの期間を3~6か月程度とり、この間に市民からの意見・質問を募り、適時、公表する。(パブコメに準じて記名での提出を求める。内容公開時は匿名。)
- 3) 並行して仕分け委員を任命し、委員は資料請求を行う。
(前年度中に委員を任命し、事業選定から関与するのも、一案)
- 4) 担当課は請求された資料および、市民からの質問のうち必要と判断する回答を公表する。
- 5) いわば、ネット上のフォーラムのような形で、事業内容への理解と課題の抽出が進行する。
- 6) 所定の時期に「事業仕分け」を行い、仕分け委員は前項の内容を参考に、仕分けに臨む。
(来年度以降は、毎年、全事業分野を対象とする。)

期待される効果

- 1) 市民に意見・質問を求めることにより、関心が高まる。
- 2) 市民の協力を得て、事業内容への理解と課題の整理が進む。
- 3) 準備期間を長くとることにより、当該事業への市民の関心が高まり、担当職員にも刺激となる。

* 対象事業の選定(市民の納得のいく選定と過程の透明性確保)が別途の課題。

2. 各論

1) 島田市行政改革推進委員会の意見書について

H25年度の意見書で「当市における事業仕分けの意義等」について詳しく触れてあり、事前に配布されていれば参考になった。

2) 事業仕分けの意義の職員への徹底

前記の意見書に記載された「意義」について、職員への徹底度合いが疑問。

(特に、財政節約効果以外の意義。市政への関心喚起・市政への市民参画。職員の意識改革。)

3) 事業選定について

今回についていえば、事業選定について委員の選択肢は少なく、委員も参画したというアリバイ作りの感が強い。

また、指定管理事業を対象とするか否か、明確なルールづけが必要。

(個人的には、指定管理であっても、事業の必要性、コスト対効果の検証、執行の適切性等の議論は必要と考える。)

* 「農家民宿案件」事業の中止：透明性確保の観点から、経緯の調査が必要と思う。

(中止となった理由の説明、よく理解できなかった。)

4) 「公開の原則」の徹底について

公開の第1回仕分け委員会で報告された「対象事業の公表時期」が1ヶ月近く延期されようとした。「市民・議会・マスコミに同時に公表する必要」という理由は、「公開の原則」の重要性に比して根拠が薄いと考え、再考を求めて延期が撤回された。

この「同時公表の必要性」について、もう少し詳細に説明頂きたい。また、8月5日(火)の議会総務消防常任委員会で「延期」が報告されたと聞いたが、どのような経緯によるものか、議会側からの何らかの要請によるものか、説明願いたい。

5) 委員への利害関係者の接触対策。

<対策案> 直接接触は不可、情報提供は事務局経由のルール化。

* 委員名の公表は直前でも可か？

6) 委員の構成

議論のしやすさから、人数は適当と思う。

前記提案の「市民レビュー」方式か、別途、判定人を置くのも一案。

7) 会場

録画を確認して自らの発言の聞き取りにくさに愕然とした。途中で注意があったが、ここまで聞きにくいとは実感しなかった。次回からは、初日にマイクテストを行ってはどうか？

8) 事業シート

「仕分けの意義」が徹底しておらず、ミスがあった。

(人工の1人単位記載、市民負担額への売り上げ等の算入等)

役所の発想によるフォームで、事業の全貌がわかりにくい。

(費目が具体的でなく、わかりにくい。)

同一対象への複数補助金。政策パッケージでの評価等の考慮が必要。

効果・成果の記載も具体的でない。

9) 資料請求

提出資料の公開：委員と傍聴者・市民が同じ資料を共有するため公開が前提。

…当日はプロジェクター利用も一案。

* 担当課の資料出し渋り対策要？

10) 所管課の説明

人数が増えてもよいので適確な説明を。

冗長な説明もあった。

課長がすべて説明する必要はない。実情を把握した担当者が説明するほうが良いのでは。

11) 広報、傍聴… とにかく、市民の関心が低かった。なぜだったのか？

12) アンケート結果より

- ①委員の意見が平均的な市民の意見が分からなかった。
・・・「市民目線とは何なのか？」
- ② 委員同士の意見交換があればよかった
- ③ 仕分け人が理論武装ではなく、一個人の意見を言うのはいかがが
- ④ 仕分け判定をする人が果たして適切かどうか不安がある。
発言や判定に責任を持たせる方法を考えてほしい

今後どう考えるか、仕分けに参加した委員の皆様と議論したい。

13) 今後の展開・・・仕分け結果の生かし方が課題。

「あえてサンドバッグになる覚悟で、乱暴な議論を投げかけた。」

『依存度 10%以下の補助金の返上を考えてみたら？』

・・・補助金全般について議論する材料となってほしい。

このような議論を広げる為の方策とは？

- * ビデオ記録は、とっつきにくい。その他の情報は「特記コメント」のみ。
・・・何らかのダイジェストが必要ではないか？

以上

H26. 10. 22

市民委員 森 克広